



佐々木 大三郎 議員  
(市民クラブ)

一問一答方式

# 農業振興対策について問う

**問**.....

農業を取り巻く環境は、農水省の地域活力創造プランや米価の大幅下落により激変しているが、この現状に対する見解は。

**答**.....

よる担い手への農地集積の進捗状況と対応策は。

**問**.....

が、大規模営農希望者には関係機関や団体と一体となって対応する。

**問**.....

減反水田にどのような転作作物を奨励するか。

**問**.....

地元加工品の売り上げを伸ばす手段として、地酒や加工品を地元で消費する「乾杯条例」等の制定を検討すべきでは。

**答**.....

全国でも、JAや公設試験場で実証や活用が行われている。畜産農家の需要と転作、飼料用米の生産体制を見ながら時期を見て検討したい。

# 六次産業化について問う

**問**.....

六次産業推進本部のこれまでの活動成果は。

**答**.....

条例化よりも、地元商品に自信を持って地産地消する文化を定着させたい。

**答**.....

イトーヨーカ堂とエスフーズ、遠野市との三者協定を踏まえ、遠野牛の加工施設を整備する。また、どぶろく飴やポップ和紙の開発がある。

**問**.....

飼料用米を加工して家畜の餌にする稲子実発酵飼料の加工販売事業を検討しては。

**答**.....

全国でも、JAや公設試験場で実証や活用が行われている。畜産農家の需要と転作、飼料用米の生産体制を見ながら時期を見て検討したい。



たわわに育ったホップの収穫作業

**答**.....

JAによる米の買い取り概算金下落や、T P P交渉による農畜産物関税の引き下げ(案)の報道など、非常に厳しい状況であると認識する。

**問**.....

本市農家の大規模化は可能か。

**答**.....

畜産の盛んな地域には飼料作物を、ほ場整備を終えた平場には大豆を奨励しているが、27年産については、産地交付金加算の大きい飼料用米を奨励したい。

**答**.....

U・Iターン者や地元農家の方に、ポップ耕作の素晴らしさをPRし、基幹作物とした新規就農者の確保と、誘導支援策に取り組む。

**問**.....

農地中間管理機構に10ha以上耕作の認定農業者は60人程である

**問**.....

遠野産ポップは、ブランド化され全国的にも有名になったが、高齢化による耕作者減や後継者不足の状況なので対応策が必要では。

# 体験移住で交流人口の増加、定住への取り組みを！

**問**.....

地域経済の活性化、持続可能な活力のある地域づくりを図っていくために、家具や家電、寝具や食器などを備えた体験住宅を整備して、お試して暮らす体験移住の推進、交流人口の増加に取り組み、定住へと結び付けるべきと考える。空き家の

**答**.....

利活用にもなるのではないか。

**答**.....

平成18年に「で・くらす遠野」を立ち上げて移住者確保に取り組み、平成27年2月末までに、61世帯121人の方が「で・くらす遠野」を利用して移住している。現在、更なる移住者

**答**.....

確保のため「空き家バンク」の本格実施に向け、市内の空き家を調査中であり、所有者の意向を確認、相談しながら、物件の確保に努めている。体験住宅の整備は、移住者確保、交流人口の増加に有効な施策である。



盛り上がった移住者交流会

**答**.....

り、空き家を体験住宅として活用することは、有効な空き家対策の一つとなる。

**答**.....

インターネットの普及によって生じたネット依存やスマホ中毒などは、子どもの健全育成において重大な問題である。一方、これからの社会を生き抜くために、情報手段に慣れ親しむと共に、適切に活用できる事も重要と考えている。インターネットリテラシーと情報モラルの両輪が大事な学習内容であり、今後も適切な学習が行われるよう指導してまいります。



小林 立栄 議員  
(無党派)

一括質問方式

【その他の質問】

- カリンちゃん、くるりんちゃんを利活用した市政情報の発信について
- 人口減少社会を見据えた、人を大切にしたい持続可能な地域づくりを

# インターネットリテラシー・情報マナーの向上について

**問**.....

インターネットの普及による社会の情報化は、子ども達の生活や心身の問題に大きな影響を及ぼしている。危険だから遠ざけるので

**答**.....

インターネットリテラシーとは、情報ネットワークを正しく利用できる能力